

2023年度  
春号

第211号

三鷹市市民協働センター

## ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

～協力のテクノロジーと先進事例から学ぶ～

開催します

## 連携の輪を広げる地域づくりのプラットフォーム

2024年3月20日(水・祝) 14:00～16:30

会場：三鷹市市民協働センター2F 第1会議室

参加費無料  
定員50名  
(先着制)

「価値観の多様化」「コロナ禍による社会の変化」など、私たちが関わる地域団体やグループの活動は、大きな転換点にあります。

その一方、年頭の能登半島地震でも改めて認識させられたように、防災や地域福祉、学校教育などあらゆる分野で、地域における「協働」の大切さはますます高まっています。

そこで今回のイベントでは、「価値観、利害関心の違う人々と協働する方法」について、『協力のテクノロジー』を提唱する松原明さんのお話と、流山市で地域防災に取り組む矢口輝美さんの事例から、実践につながる学びを得ていきたいと思ひます。

## 【講師】

## 松原 明さん (NPO法人協力アカデミー代表)

広告制作会社、事業開発コンサルタントを経て、1994年、NPO法立法を推進するシーズ・市民活動を支える制度をつくる会を創設。NPO法、認定NPO法人制度、NPO法人会計基準、寄付税制拡充などの制度創設・改正を推進。多くの自治体のNPOとの協働制度創設にも携わる。2023年、協力のテクノロジーの開発普及を行う「NPO法人協力アカデミー」を設立。著書に『協力のテクノロジー:関係者の相利をはかるマネジメント』(共著)など。



## 矢口輝美さん (流山防災まちづくりプロジェクト代表)

新設中学校の保護者の会の立ち上げや主任児童委員の活動等を経て、2019年に「流山防災まちづくりプロジェクト」をスタート。自治会と中学生が連携しての防災訓練の実施、女性防災リーダーの育成等を通して、防災を軸に地域の多様な主体をつなぐプラットフォームとしての活動を展開している。



申込フォーム

お申し込み・お問い合わせ先

三鷹市市民協働センター ☎ 0422-46-0048

〈1ページ〉開催します「連携の輪を広げる地域づくりのプラットフォーム」〈2ページ〉開催しました「NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立15周年・市民協働センター開設20周年記念事業」〈3ページ〉開催しました「がんばる地域応援プロジェクト×つながり広場発表会・交流会」〈4ページ〉開催予定「がんばる地域応援プロジェクト説明会」「Machikoe(マチコエ)」ミニ報告会、おやこでよって「チョコっとなつぷるーむ」に来年度から、新しく講座が増えます！、能登半島地震被災者支援のための募金箱を設置しています

# NPO法人みたか市民協働ネットワーク設立15周年 ・市民協働センター開設20周年記念事業

開催日：2023年12月2・3日（土・日） 参加人数：12/2（土）137人・3（日）77人

三鷹市市民協働センターは2023年12月に開設20周年を、また指定管理者として運営を行っている特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワークは15周年を迎えるにあたり記念事業を開催しました。

「つなぐ・ささえる・つむぎだす」というセンターの3つの機能を果たしつつ様々な新しい取り組みを積み上げてきた一方、20年前とは社会のあり方は大きく変容した中で市民協働センターがどのような役割を果たしていくべきか、さらにはどのような新しい価値を持たせていくべきか。1日目の基調講演や懇談会、2日目の大交流会などを通して、これまでの歩みを踏まえながら三鷹の市民活動のこれからを、ご参加いただいた皆さまとともに考える機会となりました。



《オープニング》国際基督教大学のハンドベルサークル〈Bell Peppers（ベルペッパーズ）〉がクリスマスメドレーを披露しました。澄んだベルの音色に心が癒されるひとときでした。

## 一 式典 一 【1日目】



埴村代表理事 河村三鷹市長 伊藤市議会議員 吉田実行委員長

当法人の会員や登録団体、住民協議会会長、町会長、市議会議員などを招待し式典を開きました。埴村代表理事の挨拶の後、河村三鷹市長、伊藤市議会議員より祝辞をいただき、最後に吉田実行委員長より「協働センター20年間の歩みとこれから」についてお話がありました。

## 一 基調講演 一 「“協働”の次にくるもの ～これからの中間支援のあり方を考える～」

今回講師にNPO法人協カアカデミー代表の松原明さんをお迎えし、社会状況の変化を踏まえたこれからのまちづくりの考え方や支援のあり方などについて学び、私たちが果たすべき役割に関する重要な論点や考え方を理解することができました。参加者からは「NPOの変遷と今後の課題がわかりやすく学べ、地域の中でのネットワーク構築の重要性を感じた。」との声が聞かれました。



講師の松原明さん

## 一 パネルディスカッション 一

基調講演の内容を受けて、米川充事業広報部会部会長が進行役を務め、パネルディスカッションが行われました。その中で、プラットフォーム構築の重要性が確認され、これからのセンターのあり方のヒントを得ました。



《登壇者》 ・松原明さん ・垣花満三鷹市生活環境部調整担当部長  
・米川充事業広報部会部会長 ・吉田純夫実行委員長

## 一 懇談会 一

講師も交えた参加者同士の懇親会では終始和やかな交流が行われ、互いの市民活動などについて話題が広がりました。

## 一 市民団体活動発表 一 【2日目】

6団体の活動発表があり、それぞれの活動の熱のこもった発表に聴講者も思わず前のめりになり聴き入っていました。

## 一 誰でも大交流会 一

多くの方々にご参加いただき、会場は賑やかな交流で溢れ大変盛況でした。後半では私たちの活動のPRタイムが設けられ、積極的な参加があり、会場は大いに盛り上がりました。



《写真上段左から》

- 1.みたか子どもの食と未来を守る会
- 2.三鷹大沢わさびの復活を目指す取り組み
- 3.量り売りたまちの台所「野の」&風のすみか

《写真下段左から》

- 4.あるけるミタカ研究所
- 5.マチコエココミュニティグループ
- 6.四中ゆないと





## がんばる地域応援プロジェクト × つながり広場 発表会・交流会

開催日：2月10日(土) 参加人数：(会場)71人、(オンライン)24人

「がんばる地域応援プロジェクト」とは、市民の皆様が実施する地域の課題解決や活力を生み出す先駆的な取り組みを支援する事業で平成19年度から実施し、今回で17回目となります。今年の発表会・交流会は、東京都及び公益財団法人東京都つながり創生財団と連携して開催しました。

第1部ではがんばる地域応援プロジェクトに応募の8団体の発表と東京都つながり創生財団のパイロット事業の事例紹介(1団体)を行い、第2部では労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団北関東事業本部の相良孝雄さんと発表団体とのトークセッションを行いました。

今回は、地域貢献活動に積極的な企業等によるブース展示や交流会への参加もあり、これからの協働のあり方を考える場にもなりました。



選考委員長：法政大学教授 名和田 是彦 先生  
選考副委員長：杏林大学教授 古本 泰之 先生  
選考委員：川鍋生活環境部長  
垣花生活環境部調整担当部長

### 下連雀六丁目防災の会 「防災ひろばに応急救護普及車がやって来る！」

#### 連雀地区防災訓練の帰りに寄ってね！」

防災ひろばにて防災倉庫の装備品展示見学や東京消防庁の応急救護普及車を体験、下連雀六丁目の住民に在宅支援施設の役割を周知した。また、α米炊き出しやチャリティーバザー、ドローン撮影会に参加してもらい、参加者同士の交流を深め、町会がない下連雀六丁目の顔見知りを増やすことを目的とし開催した。

### 井の頭一丁目町会 「いのいちキッズを中心に多世代交流」

昨年より毎週火曜日午後3時～5時に、「あつまれ！いのいちキッズ(小学生の居場所づくり)」の活動を続けている。今年にはさらに、まちの先生(地域の学生や大人の方たち)から学ぶ場を作り、「セミの観察会」「玉ねぎの皮の草木染」「お金の勉強」「お正月会」「新1年生歓迎会」を開催した。

### 井口協和会 「コロナからの子ども会復活プロジェクト」

コロナにより子ども会の活動が停滞し、解散や会員数の減少が顕著にみられるが、勧誘イベントを行うことにより、会員増強を図り、地域の活性化へと繋げていった。

### 井之頭町会 「なますさんの落語会～おなかをかかえてわらったら、じしんのことわかっちゃうのだ～」

井の頭地域は、狭小な道が多く走る地域であり、災害時に外部からの支援のアクセスが困難になりやすい。また高齢者が多く居住し、転居する子育て世帯も増加している。落語を通じて地域に顔見知りを増やし、楽しく防災の知識を身につけることで、地域に自助・共助・笑顔の輪を広げることを目的とし開催した。

### 牟礼中町会 「町会会員宛 花鉢配布」

主に個人住宅で構成される町会の街なので、配布する鉢を各戸に置くことで、街に彩りを創出し地域の社会環境を明るくし、会員相互のネットワークの活性化を図った。

### 下連雀若葉会 「関東大震災100年から学ぶ防災」

防災バスツアーを企画。『東京消防庁・本所防災館』で防災体験を行い、『東京都復興記念館及び震災復興街づくり見学』を行った。このツアーはすべて「NPO法人Mitakaみんなの防災」の専門家の解説、説明を受けながらワークショップ形式で行った。行きは三鷹の防災施設や取組等の話し、帰りは関東大震災100年からの教訓や日頃からの地震への備え、被災後の適切な行動等を学んだ。

### 大沢宿町会 「1日夢広場2023」

大沢地域三町会の主催でイベントを行い町内会活動の重要性を地域住民に知ってもらった。大沢地域にある諸団体と連携を深め地域の活性化につなげていった。

### 都営井の頭四丁目アパート自治会 「みんなでクリスマス」

青少年育成を主目的として開催。「住民による住民のためのコンサート」「ワークショップ(リース・オーナメント)」「子供によるゲーム&クイズコーナー」「子供用防災紙芝居」「使わなくなったもの交換会」を行い全住民の親睦を図った。

### 三鷹台団地自治会 「在宅避難生活に向けた《食の備え》できていますか？」

東京都と三鷹市の連携事業である町会・自治会応援キャラバンを活用し、「在宅避難に向けた《食の備え》」をテーマに自治会初の防災イベントを開催。安心安全な暮らしを実現するための意識づけのきっかけとすると同時に、イベントを通して住民同士のコミュニケーションの活性化を目指した。

## 開催予告

### 令和6年度「がんばる地域応援プロジェクト」説明会

開催日時：2024年 4月7日（日）10:00～12:00

会場：協働センター2階第1会議室

詳しくは、後日センターのHPにてお知らせします！

### 「Machikoe（マチコエ）」参加者によるミニ報告会

開催日時：2024年 3月24日（日） 10：00～12：00

会場：三鷹市市民協働センター 2階 第一会議室

参加費無料  
定員：30名  
（先着制）

2023年7月から12月末日までの活動期間中、「Machikoe（マチコエ）」メンバーがテーマごとのグループに所属し、まちの声を聴きながらディスカッションを行い、未来に向けたまちづくりのアイデアを提案しました。その中から4つのグループが活動報告をします。

- 《ゲスト》
- 加藤明子さん（マチコエ 防災・減災グループ）
  - 田邊健史さん（マチコエ コミュニティグループ）
  - 新居みどりさん（マチコエ 平和・国際交流グループ）
  - 林 孝憲さん（マチコエ 商工業グループ）



申込フォーム

★「Machikoe（マチコエ）」とは、ご応募いただいた市民の皆さんと一緒に魅力と活力のある三鷹を目指すための新たな取り組みとして、市が設置した「市民参加でまちづくり協議会」の愛称です。協議会の活動期間（協議会メンバーの任期）は令和3年7月から令和5年12月末日まで

お申し込み・お問い合わせ先：三鷹市市民協働センター ☎ 0422-46-0048

### 親子で楽しむ英語絵本&手遊び歌♪

開催日時：4/13（土）10：30～12：00

会場：協働センター ミーティングルーム



おやこによって「チョコッとあつぷる一む」に  
来年度から、新しく講座が増えます！

《こんな方へ》

英語絵本を普段の読み聞かせに取り入れてみませんか？  
大好きなパパママの声でリラックスする時間の中で、英語が身近になり、自然とフレーズが身に付いていきます。

お家で取り組んでもらえるように、本講座では、お子さんと楽しめる読みやすい絵本と手遊び歌をご紹介します。

一緒に絵本の世界を楽しみましょう♪

- ・子供には自然に英語を身につけてもらいたい
- ・どんな英語絵本があるか分からない
- ・英語に興味のある他の親子さんと交流したい

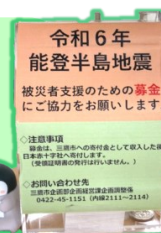


★おやこひろば「チョコッとあつぷる一む」のお申込みは左のQRコードから「おやこひろば」のページにアクセスしてお申し込みください。

能登半島地震被災者支援のための募金箱を設置しています。

三鷹市の募金箱を当センター1階交流スペースのテーブルの上に設置しています。ご協力よろしくお願ひします。

三鷹市より日本赤十字社を通じて被災地に寄付されます。



### ■町会・自治会へニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けいたします。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

#### Editor's note.

編集後記：昨年末の周年事業には多くの方々にご参加いただき、2日間とも大変な盛り上がりで、無事に終了いたしました。その後、一息つけるかと思いきや、年度末に向けて再びバタバタとしています。最近では初夏のような陽気と真冬の寒さが交互に訪れ、未曾有の天候変動で体調を崩される方も多いようですが、皆様も体調管理にはくれぐれも注意してください。忙しいこの時期を乗り越え、健やかに過ごしていきたいと思ひます。

### ◆ニュースレター配布場所◆

NPO法人子ども生活ゆめこうば、おむすびハウス、CafeHammock、グラナダ、ハローワーク三鷹、美容室TBK三鷹店、ファーマーズショップ根岸直売所、三鷹モダンタイムス、るま・ばぐーす、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、近隣市区の公共施設・市民活動支援センター

発行日：2024年3月6日

発行：三鷹市市民協働センター

（指定管理者：特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク）

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ：https://kyodo-mitaka.org/

開館時間：9:00am-9:30pm 受付時間：9:00am-9:00pm

休館日：火曜日（祝日は開館し、直後の平日を休館とします。）

